

No. 205 17 de Fevereiro de 1952 O PROGRESSISTA Reg. 2.695 São Paulo

バスロス週報

第五百五十八号
年日 二月十七日
行 二月十七日

登録名義人
森幸一
発行所
バスロス自治会
C.P. 206

針針 針針
六十七
外郵 取取
落差 作市
C.P.

編輯所
高田商店内
印刷所
バスロス週報社
C.P. 112

バスロスの発電所と配電問題 (一)

昨年十一月約一ヶ月を費してバスロス発電所は大修理を終り、電気問題に關する毀敗を一掃するの態度に出たが、次々と起る小故障の爲めに停電と余儀なくされ、経営者側も頭痛針巻、消費者側も愚痴たがひり中でも電力を常に仕置きしてゐる人達は遂にたまりかねて連署の上市長を動かしてバスロス部の配電権所有者シヨビシヨル社にのり出した。去る二月八日のハヤリス又新聞には「ホッく〜てんでこ舞」と題して、バスロスの電気問題が一舉に解決されるかに見ゆる厥る明朗な記事が出てバスロス市民を喜ばせたが、新聞記事にあるように、さう此の問題が簡単に解決されるものでありうか。

一日筆者、消費者側の代表として出聖した太郎田、谷崎両氏を訪問し、其の意見と拝聴したが、其の経緯については後段に述べることとし、二月十一日に執行された橋長見氏対消費者代表者の會見から本問題に觸れてゆくこととする。

サンパウロ市まで出向いて行った消費者側代表は聖市に於けるバスロス會社との會見の頭末を報告し、記事(本紙)にある通り、分バスロス電燈所の電力アラビータを求めたのであるが、橋長の態度は頗る紳士的で、自今迄除外した配電交渉の一件に關しては此の如く進められつゝあるといふ。

時 二月十二日夜 消費者代表 林武七
太郎田、谷崎、徳三、バスロス市長、村登電
所、橋長見、立合者、西、藤原、落電

世リリスの諸氏
協定第一案、シヨビシヨル社には一五五三年六月バスロスに充てる電力を配給するがそれ迄の期間バスロス発電(次頁)

ARMAZEM DE CEREAIS OKAMOTO

アメドイン
一般農産物の
御販賣は多少に不拘す
御用命願ひます
誠実に責任を以て
御取引に應じます
バスロス市ドッキネ、カシマス街
農産物 岡本商會
仲買

Bastos

ちよつとした御買物でも
ペルナンブカーナスでなければ
いけないと御言つてわざと
御越し下さる、お各様が
多くなつて

ほんとうにありがとうございました
存じます

御出町の節は是非お立ち寄りの
カシマス
ペルナンブカーナス

FAZENDAS CASA PERNAMBUCANAS

FILIAES EM TODO O BRASIL



所に補助電線の供給を申し入れて、即ち同社の申入れを石橋氏が受諾し、午後六時より十時迄バスター発電所より補助電力を供給すること、配電設備を賃貸す。但し賃貸賃報償契約非其他の手間は前記代表者（新電気委員の仮称）と石橋氏の間に取極めること。

協定第二案、ジヨビジョルジ会社が余剰電力を石橋氏に提供（有償）し、石橋氏が五十二年六月ジヨビジョルジ会社自らのバスターに全カ配電が出来ると、暫定的にこのまま、経営と続行すること。

右二例の試案に意見の一致を見たと、近日ジヨビジョルジ会社より技師を派遣し、愈々実際問題について協議がすすめることになる。（つづく）

第十六回バスター椰子樹研究会誌

働きて月謝を得ること、吾輩のフラ製系に通ひ始めぬ

ネゴシオすれば店の主のおたかかに眼を伏しながら鉛筆を立てること、真神鳴草

住み古りしバスターは、織る如き、聖市の雑沓はわが性に合はず、吹本、南子

乳のみ児を文に渡して、連窓に継り、嘔吐境えいる若きニクラ、折田、井朝

月見草は白をこぼして、この園に君と別離の時移りゆく、浦、惠、樹

魚造作に手漬かみたる彼もまた高級車ものコーヒー、坂東、春、歩

歌多きマンナケラに真向いて、ようこそ来しと、うから寄る朝、佐伯、唄、繪

鳴き渡るオームの群の一群が、去れば一群また後に来る、木村、重、羊、鈴



バスター将棋大会

期日 いよいよ切迫

策戦に就策を練る若武者の面々、我れこそバスター名人の勝者来り

あけんと腕がうづいて、いふ

- 一、期日 二月廿四日 午前九時
- 一、場所 佐野食堂階上
- 一、会社 三十新形長（朝長カス、代）
- 一、審判 小橋（ト）谷口（ル、ウ）両氏

小橋より大会へ金を百計寄贈ありたり

ひろい物

去る二月十日 谷崎商店附近にて、萬年筆（オリビック印）を拾ひました。落した方は石橋事務所内、浅田正義氏の所へ、御申出下さい。

ニユーハンパシャー ヒナ御取次ギ致シマス

定評ある

サント・オノフレ直系の

畑中種鶏場の

ヒナ

御取次致します

全種鶏 無病 遺傳的疾

患比台魚（来年度ニ、ハ

シカ×白トカ一代交雑作出

申込所 シマーカーラ

大河内養鶏場

（精米所より南二百米）

御希望なれば、サント・オノフレの鶏も御取次ぎいたします

短歌 つゞき

潮ざいと思へばかなしみくま野の
いでゆの旅のその若きころ
高井 愛子

疲れやすくなりたる夫が夕早く
湯浴みする音聞きつ、物煮る
森重 扶美

将あかぬ電氣何題にいりく
今日も一日を空しく 道せり
池田 夜誦 結

今日一日病みて郷愁たえ難し
夕と北は月云でて 熱風が吹く
小松 修 水

七十路越ゆ父いたたけは夜も壹も
つを 語る 故国のことども
阿部 阿 風

湯にひたり静かに過ぎと思ふ列
小説を書く材料はありき
山本 秋 扇

映画座談會

(三)

(春歩) 僕は原作も読んだが、映画化された結果はつまらんものになつてゐると思ふ。物語りと映画化したものに止まり芸術的なるもの片鱗も感ぜられぬ。大したもんではない。

(時川) (紀南子) 見ながら、だから判らぬが、長崎の聖者永井博士の記録文学程度のもので、面白くない。

(司會) では次は、我が生涯の懸ける日。春枝さんトッアを切つて下さい。

(春枝) わたしは、指をさすのはいせよ、西さんか？

(西) 僕は見たことば見たが、先に發言すると、やはりさういふ遠慮する、僕はわかりかと言へば皆さんの意見見をききに来たのです。

(春歩) いつとセットのことはかり言ふようですがどうもセットが貧弱だね。戦後の映画会社で金がかかることがユメ人の知つぬが、何とかもう少し氣の利いた道具立てはユメ人ものでせうか？

(紀南子) 筋や演技、撮影なんかがどうかね？

(時川) 僕は面白くないと思つた、何とかあるね。主演は？ 森重三か？ 演技どうも悪くないね、あはいいい。

(春枝) わたしがほめようと思つていたのに…… 森重三の演技は全くすばらしいか、ほん

とに輝ける彼だわ、お五十代ちゃん
(千代子) わたし山口淑子も光つてゐると思ふわ、戦後派といふのか、とてもスラッで見られる刑罰の女を演じて…… 引かれたわ

(時川) 吾々が見た今迄の日本映画では一番いいと思つた、日本映画の極致だね

(西) エヒ忠告といふのは、あんないいものですか、カナイに最後にはいるでせう、薬とこし入れてやるんかと思ふ

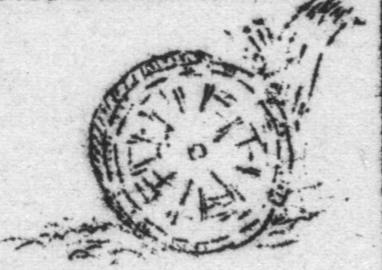
(時川) そんな心配はせんぞい (笑)

(紀南子) 西君のいふように、やはり見物に深刻なものを演じてゐるにちがひない。

(春枝) わたし、しまちう日本映画見にゆきませうが、ほんとうは、日本の女の人造が使ふ言葉と、さういふ中々の、日本婦人の使ふ言葉と、さういふと、日本語の美しさに感心するわ、物や演技は、この次だね

(司會) いろいろお話を、鑑賞の一面度といふわけですか、春歩、何かお話を入らんね

(春歩) いやそんなことは無い、セットの悪口は、いたが演技は、主演も助演も、皆熱演だし、演技もついた男とか、ギョウスの親分とか、おれも北の方と、個性を發揮してゐる、個性も、あか…… 自首して、おれ近のテンポが長すぎて、た…… (涙)



水車

粉の賃びきき
はじめました

たに (漢字)

お知らせ

純日本種 (入荷いたしました)

新ヤマト西瓜 二号

今迄にご相談下さつた御方は、至急数量をきめて下さい、尚ご入用の、お方は早目に御用命下さる様願ひします

植木商店

(時川) だつて、わが生涯の輝ける日だぜ
 (春枝) だて自首の緊迫感と少しも感じられんよ、まるで散歩してゐるやうだ、最後がツシ悪いと思ふ

(紀南子) 監督の趣味が悪趣味か
 (時川) オア先令染める映画だよ
 (司會) では、次は「晚春」です

(紀南子) 思ひ出そうとして、私も思ひ出せん
 今の程私に見ていない
 (春枝) 何を到底なことを言っているんだ、あの名画を見ないなんて、映画を語るの興味が無い
 (紀南子) どううが、ないじゃないか、ロマンティックなんだ、無理もない+

(時川) 僕もサンバウロへ行つた留守の間だ、たぶんお尻にぶつたか、説明して下さい
 (春枝) 何しろ、芝居が上手はいいお尻は、た、何とすべり、彼の演技をやらね、あの映画で演技賞をもらった相手が全く偉儀があるよ、しまいにする程さえて来て、京都の旅籠で父娘の対話がある、あの静かに結婚の哲理を説くところなんかな、すばらしいよ

(西) 親一人娘一人と、た家庭生活の有様さ、いさよといふのか、父は娘の結婚を希望しつゝ
 (下脚) 父は娘の結婚を希望しつゝ

カミニオネツテ

ドーゼ五〇年型 七五〇キの積

カミニオン

四九年型 五トン積 レドジョイド

右二車 格安にて至急譲り度し
 値段、支払方法等 御相談に応じます
 ハレルヤ製菓工場 (作間)

宅地 ゆづります

場所 はシネマ館の向ひ側
 道路 に面したところ、六メートル空地、利用価値多く有望な場所

御希望の方は左記へ御尋ね下さい
 ネゴシオは便利に設計し致します

アスナルバロス街
 アツソギ O.K 河 戸

当世浮世床 高井 四九

川柳「眼」五十題の五

。眼敏くも夫の素振り嗅ぎつけて
 。獨眼龍と言はれて土木請負師
 。刑事室ボツリく伏眼がち
 。壁竹を置いて見据えて髯を撫で
 。一服見ただけの見合 にはてる顔
 。婿と合む眼で成る程に御尤も
 。シヤボシ玉飛んで消えるへんぐり眼
 。涙痛を眼に一目の置きどころ
 。嘲りの眼に固まれば怯へた眼
 。三界の濁りに染まぬ眼子生きて
 (下脚)

急告

左記の方々は戸籍事務に因り至急御足労願ひ度く御通知申上ります
 土井繁雄 伊藤盛生 松井元三
 高柳寅雄 新津夏好 味野 敬
 樋浦滝雄 千早松三郎 (何々敬称略)

二月十四日 石橋事務所内
 戸籍係より

しかし、出来ればこの林一々のまゝと欲するといふ
 空載なども感せられて僕もすつかり共鳴した
 (春枝) 芝居が上手と佐分利の演技比較について私は感ずるのですが、芝居の遠さ... 佐分利の冷さが対底的です、私には芝居映画の鑑賞は二りです、川柳の温厚さには打たれずした。

(千代子) 私はロケーションの美しさは氣にとられた
 わ、花の露台もよかったです、京都の古刹も頭にのこつてゐるわ、あう女優何といひました、原節子、すばらしいわ、深刻な表情おエ

(西) 時田君何故だまってる?
 (時田) いや僕も見ていないんだ
 (西) 晩春の茶会切れにりささむいて淋しさに輝かけていて、そのあと、海岸の波ばかりたまたまうつしたのほ、どういふものでせう、候、此の橋より (以下次号)